

ブロッコリー

1 作型

月	1			2			3			4			5			6		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	初夏どり -----																	

月	7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	秋冬どり -----																	

:播種 ×:定植 :収穫

アピールポイント

- ・出荷時期:5月下旬～6月下旬、9月中旬～11月下旬。
- ・緑黄色野菜の一種で、ビタミン、ミネラル、食物繊維が多く含まれます。
- ・茎も柔らかく甘いのできんぴらや浅漬けに利用できます。



2 各作型のポイント

(1)初夏どり栽培

育苗が厳冬期にあたるため、夜間の低温に注意します。また、ビニルハウスを利用するため、日中の高温対策にも留意します。

暑さには弱いので、夏の育苗は寒冷紗などを掛けて日差しを防ぎます。また、暖かくなるにつれて、害虫が発生しやすくなるので、防除を徹底します。

取り遅れによる花蕾の変色をおこしやすいので注意します。

(2)秋冬どり栽培

根こぶ病に抵抗性のある品種を利用します。

高温期の育苗となるため、通風が良く遮光等のできる雨よけハウス内や白寒冷遮等を被覆したトンネル内で育苗します。また、購入苗を利用する方法も有効です。

冷涼な季節に入ると急速に生育が早まり、台風など風害で倒伏しやすいため、中耕を兼ねて株元に十分土寄せを行います。

寒さにも当たると花らいが変色するため、霜よけが必要です。

(3)各作型共通

中性に近い、弱酸性を好みます。強い酸性土壌ではかならず石灰を施します。

深植えしないように注意し、株もとが少し高くなるようにします。

植えつけの20日後くらいに追肥をします。花蕾が見える時期まで草勢を見ながら追肥、中耕を行います。花蕾が



でたことと、頂花蕾の収穫直後にも追肥します。

花蕾が大きくなり、手で触って花蕾が軟らかくならないうちに収穫します。

湿害に弱く根腐れを起こしやすいため排水に注意します。

防除は同じ薬剤を連用することを避け、ローテーション防除をこころがけます。